

47. 被服構成製図の標準化について

青山学院女子短大 中村 ヨシ
○深谷 浩

1. 被服の構成に関して、製図は重要な役割を持って
いるが、従来、種々の方法が慣用にまかされて来たため
実際面でも、教育上からも不便が少なくなかった。中学
校の技術家庭科の実施に伴い、工業製図に関する教育が
行なわれることとなったが、これは、一面では被服構成
製図の標準化の促進に役立つが、他面、新しい混乱を
招来するおそれもないとはいえない。われわれは、標準
化への一つの過程として、規格試案の作成を試みた。

2. 従来の慣用法を収集し、これを整理検討する一方
製図通則をはじめ製図に関する JIS 規格を参照し、規格
試案を作成し、問題点を指摘した。

3. (規格試案の要点) JIS製図通則を準用するが、次
のように特殊性を付加する。

〔図面の種類〕 原型作図・裁断図・構成図・完成図。

〔線の用法〕 縫い目線等を付加。

〔作図一般〕 布の折り方・重ね方・縫い方等に関して
は記号を併用。

〔寸法その他〕 縫い方・くけ方・糸の太さ・針目等
についての注記法を規定。